

愛知県名古屋市立植田東小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：771名（25クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：RC造、2階建て（一部3階建て）、延床面積 8,370㎡、約20億円
- ・ エコスクールの事業タイプ：太陽光発電型、省エネルギー・省資源型、自然共生型、木材利用型
- ・ 整備期間：（検討期間：H17.10～H19.3、工事期間：H19.12～H21.3）
- ・ 要旨

校舎をゆったりと配置するとともに、内装に木仕上げを多用することで、木の温かみと潤いのある環境づくりを進めた。また10kwの太陽光発電設備の設置、屋上の緑化、雨水の再利用などによりエコスクール化を図った。

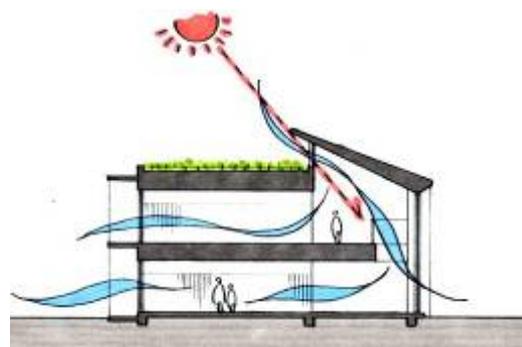
(エコスクール化の内容)



外観



バルコニー手摺部分に設置した太陽光パネル



自然の通風・風の道考えた、開口の配置

①太陽光発電型

従来のように屋上に設置せず、バルコニーの手摺部分に設置した。校舎や中庭から太陽光パネルを見られるようにすることで、日常的に省エネルギーを意識するなど学習効果を高めている。

②木材利用型

従来から使用してきた普通教室の床面等以外にも、校舎棟の壁や天井などに木を多用することにより、木のぬくもりを感じながら学校生活をすごせるようにした。

③省エネルギー・省資源型（雨水利用）

雨水を地下ピットに貯めることにより、中水として便所の洗浄水に利用し、水資源の抑制を図っている。

④自然共生型（建物緑化）

屋上緑化・屋上菜園を設け、直射日光の影響を緩和しており、南側には庇及びバルコニーを設け、真夏の直射日光を遮るようにしている。また風の道を考え、風通しのよい快適な生活空間を造っている。

さらに、中庭に芝生を敷き、校舎棟東側に果樹園を造ることで、自然豊かな屋外環境を整備した。

(エコスクール化の効果)

- ・太陽光発電装置による発電量は校舎の様々な電力に使われるほか、余剰電力については売電をすることができた。(21年度売電実績：20kwh)
- ・21年度総発電量：7812.3kwh
- CO²削減効果：3671.8kg(中部電力(2007)による)

- ・自然通風・採光を重視した設計により、開放的で環境に調和した学校空間を作ることができた。



自然採光により、明るく開放的なスクールラウンジ

(環境・エネルギー教育への活用)

- ・果樹園や屋上の教材園にて、実際に作物を栽培し、調べ学習などに活用している。
- ・子どもたちによる環境委員会を設置して、校内生き物マップの作製をするとともに、果樹園や芝生を利用したの虫取りを行うなど、自然豊かな屋外環境を利用して、自然環境への意識向上に役立てている。
- ・太陽光発電の状況は、1階のスクールラウンジに設置した液晶テレビにリアルタイム(30秒毎に更新)で表示され、環境学習の教材として活用している。